



小銭入れ

立石順也

革細工にて小銭入れを作成しました。縦横約9センチの正方形型で、全体的に赤色で着色しています。茶色の革ひもで丁寧にかがり縫いをされています。また、黄色いボタンをつけて蓋をしています。表面には車輪上の刻印が5つ、裏面にはTATEISHIと作者名を刻印しました。こだわりの作品に仕上げています。



Basket

J

籐を編んで籠を作りました。大きさは、直径17cmの木製の板を底板にして、高さは約20cmです。全体の形は、中部が少しふくらみ、その上が少しすぼまって、最上部は籠の口が広がっている、壺のような形です。色は籐そのものの色の他に、下から赤、黄、青の3色を横縞模様で配色しました。最後にニスを塗ってツヤを出しました。



籐のかご

雲龍

籐細工で作ったかごです。土台に正方形の板を使い、かご部分は直径約15cm、高さ約20cmの物に仕上げました。籐そのものの色をベースに、約1cm幅の赤と青のストライプ柄を交互に入れました。籐の色、赤、青で、明るく華やかな作品になりました。



かげろう

伊藤貴博

夕焼け小焼けをイメージしながら作りました。色合いは秋っぽく、黄色とオレンジ色を重ねたパステル画の作品です。もみじ、落ち葉を想像してもらえると、あ、そうなんだなと感じてもらえるかなと思います。



スマホ入れ

EM

寄せ木細工で作ったスマホ入れです。1cm四方の小さなものから10cmの細長い木材を積み重ねています。所々、窓のように隙間があったり出っ張っていたりと、芸術的な仕上がりになっています。サイズは横13cm、高さ9cm、奥行きは下が4cm、上が7cmとアンバランスに見えていますが、スマホを入れても倒れることはなく、中ほどある引っかかりにスマホを置くと動画の視聴も可能になっています。オリジナルの形をしたスマホ入れは机の上のアクセントになります。



リモコンスタンド

モリモト

1個のストーンのパーツで丁寧に仕上げました。寄せ木細工のリモコンスタンドです。パーツが細かいので、ばらつきやすいこととバランスを考えながら作りました。



「小さな秋みつけた」

ヤマダ

パステルアートの時間につくりました。葉書きにパステルというチョークのようなものを削り、色を散らしてみました。お花畑をイメージした丸い円をオレンジ・きいろ・グリーン・赤のカラーで全体的に散らしています。花畑の間に二本の流れる川もかいてみました。川が一本だけだと寂しいと思い、バランスを考えて二本の川にしました。秋の季節の風景を感じてほしいです。



おかあ

T.M

籐というヤシ科の蔓で籠を編みました。土台は直径20cmの円形木材を使用し、高さ15cmほどの作品になりました。素材を生かすために、敢えて色は塗らずに植物の自然の色を楽しめようにしました。作者は10年前にくも膜下出血発症し、左半身麻痺になりました。そのため、今回の作品は右手のみで作成し、前後交互に順番に編み込んでいく事が大変でした。OTと共に半年間かけて作成し、無事締切に間に合い、アート展の出品に至りました。



ディスプレイボード

イリス

長さ90cm高さ56cm幅30cmの作品展示用のディスプレイボードです。作品展の作品を飾るため、廃材となったアクリル板や棚板を再利用し作製しました。棚部分は透明のアクリル板なので、その下に置いた作品にも光が当たるようになっています。



社リハ看板

松野美枝子・モリモト・スミス・S

割り箸をつなぎ合わせて約10×40cmの板を3つ作りました。茶色に色付けをし、発泡スチロールで作った「あしすと社会リハビリテーション室」と文字を入れています。ランダムに3つの板を並べて看板にしていますので、素朴で山小屋に立っている看板のようです。



ティッシュケース

相上了摩

寄せ木細工にて制作したティッシュケースです。サイズは縦13.5センチ、横26センチ、高さ8センチメートルです。寄せ木一つひとつの長さが異なり、上手く組み合わせることで長さを揃えています。寄せ木の色は白から茶色まで様々な色があります。蓋と底は白色の寄せ木で、その他は茶色の寄せ木で統一して制作しています。